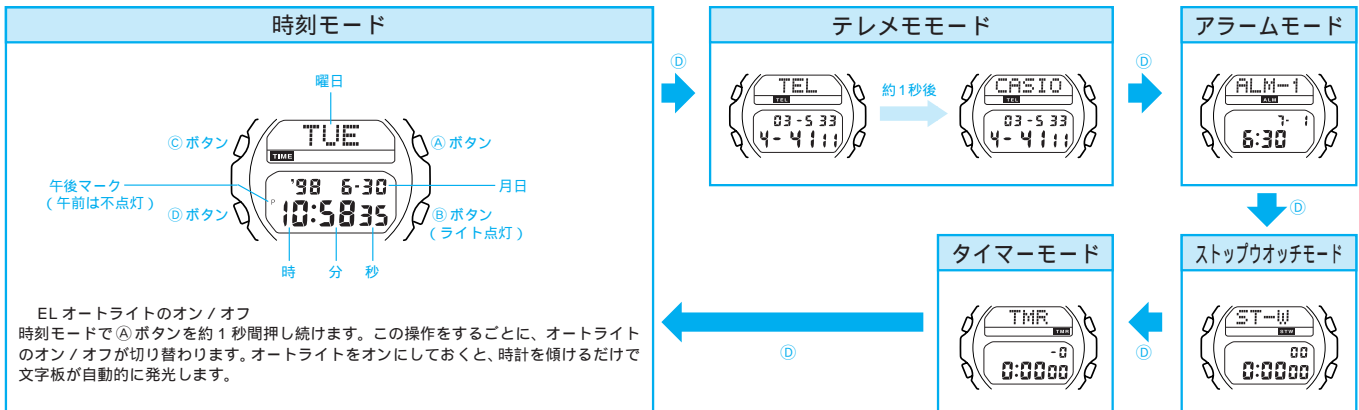


操作のしくみと表示の見方 ④ ボタンを押すごとに、以下の順で表示が切り替わります。

各モードでその機能を使用したあと、④ ボタンを押すと直接時刻モードに戻ります。



EL オートライトのオン/オフ
時刻モードで(A) ボタンを約1秒間押し続けます。この操作をするごとに、オートライトのオン/オフが切り替わります。オートライトをオンにしておくと、時計を傾けるだけで文字板が自動的に発光します。

テレメモの使い方

④ ボタンを押してテレメモモードにします。

テレメモは名前8文字、電話番号12桁を最大30件までメモリーできます。

名前で入力できるのは空白、アルファベット(A-Z)、数字(0-9)、-(ハイフン)、/(スラッシュ)、.:です。

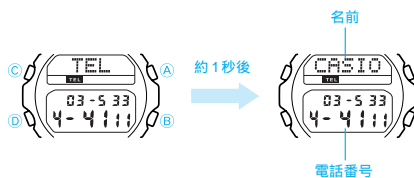
電話番号で入力できるのは-(ハイフン)、0-9、空白です。

メモリーしたデータは、名前順に並び替わりますので、データを探すときに便利です。

並び替えは、名前の先頭から比較して空白、アルファベット(A-Z)、数字(0-9)、-、/、.:の順です。アルファベットのO(オー)を数字の0(ゼロ)で代用すると、並び替えが正しく行なえません。

テレメモのセットで点滅表示のまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

テレメモモードに切り替えると、前回最後に見た名前と電話番号を表示します。
データが入力されていないときは「NO-DATA」と表示されます。



データを探す

テレメモモードで(A) ボタンを押すごとに名前順に、(B) ボタンを押すごとに逆の順に表示されます。

(A)・(B) ボタンとも押し続けると早送りができます。

データのクリアー

1 (A) または (B) ボタンを押して、クリアーしたいデータを表示させます。

2 (C) ボタンを約2秒間押し続けます。
→ 名前部の1桁目が点滅します。

3 (A) ボタンと(B) ボタンを一緒に押すと、表示されていたデータがクリアーされます。
クリアー後は新たなデータが入力できます。

4 (C) ボタンを押します。



スクロール表示

名前部が6文字以上の場合、1度5文字を表示したあと、右から左に順に送られて表示する「スクロール表示」になります。

データを入力(修正)する

1 (A) または (B) ボタンを押して、空ページまたは修正したいデータを表示させます。

空ページが表示されずに「FULL」と表示されたときは、データがすでに30件メモリーされていますので、不要なデータをクリアーしてください。

2 (C) ボタンを約2秒間押し続けます。
→ 名前部の1桁目が点滅します。

3 (A) ボタンまたは(B) ボタンを押して文字を選び、(D) ボタンを押して桁を移動させ、名前を入力(修正)します。
→ (A) ボタン = 1つ進む
→ (B) ボタン = 1つ戻る
押し続けると早送りできます。

4 名前の入力が終わったら、電話番号部の1桁目が点滅するまで何回か(D) ボタンを押します。

5 (A) ボタンまたは(B) ボタンを押して数字を選び、(D) ボタンを押して桁を移動させ、電話番号を入力(修正)します。
→ (A) ボタン = 1つ進む
→ (B) ボタン = 1つ戻る
押し続けると早送りできます。

6 入力(修正)が終わったら、(C) ボタンを押します。
→ 点滅が止まります。

残りメモリー件数表示

テレメモモードで(A) ボタンと(B) ボタンを同時に押します。押している間、残りメモリー件数を表示します。

アラーム・時報の使い方

④ ボタンを押してアラームモードにします。

アラームは分単位でセットできます。

アラームは5つあり、いずれも同じ使い方ができます。

セット時刻になると20秒間の電子音が知らせてくれます。毎正時(00分)になると時報を鳴らすこともできます。

「時」のセットのとき午前/午後(P)にご注意ください。

基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

アラーム時刻のセットで点滅表示のまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

アラーム時刻のセット

1 (A) ボタンを押して、セットしたいアラーム番号を表示させます。

2 (C) ボタンを約2秒間押し続けます。
→ 時が点滅します。
アラームオンマーク(●■■■)が点灯します。

3 (D) ボタンを押すと、点滅箇所が「時」→「分」→「月」→「日」→...と移動します。

4 セットしたい箇所を点滅させたら、(A) ボタンまたは(B) ボタンを押します。

→ (A) ボタン = 1つ進む
→ (B) ボタン = 1つ戻る
押し続けると早送りできます。

5 合わせ終わったら、(C) ボタンを押します。
点滅が止まります。



月・日・時・分のセットにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

- 毎日鳴らすとき 「時・分」のみセット
- 1ヶ月間毎日鳴らすとき 「月・時・分」をセット
- 毎月同じ日に鳴らすとき 「日・時・分」をセット
- 指定日に鳴らすとき 「月・日・時・分」をセット

アラーム・時報のオン/オフ

アラームモードで(A) ボタンを押して、オン/オフしたいアラーム番号または時報表示を選びます。

(B) ボタンを押すごとにアラームオンマーク(●■■■)または時報オンマーク(▲)が点灯/不点灯して、オンとオフが切り替わります。

アラーム1~5

アラームオンマーク

時報

時報

時報オンマーク

3:00

:00

鳴っている電子音を止める

いずれかのボタンを押します。

アラーム報音中にオートライトが発光すると自動的に止まります。

モニターアラーム

アラームモードで(A) ボタンを押し続けると、押している間電子音が鳴ります。

ストップウォッチの使い方

① ボタンを押してストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。
計測時間を超えると、自動的に"0"に戻って計測を続けます。
計測終了後③ボタンを押すと、計測値が"0"に戻ります。(リセット)

計測のしかた

① ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

・スプリット
・リセット
・スタート
・ストップ



計測中に③ボタンを押すと、表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。
スプリット計測を解除するには、もう一度③ボタンを押します。



通常計測

① → ② → ③
スタート ストップ リセット

積算計測

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに①ボタンを押してスタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム計測(途中経過時間計測)

① → ② → ③ → ④ → ⑤
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

1・2着同時計測

① → ② → ③ → ④ → ⑤
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

タイマーの使い方

① ボタンを押してタイマーモードにします。

秒単位で最大24時間までセットできます。
セットした時間を経過すると、10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

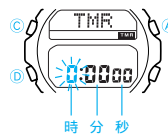
タイムアップ後も自動的に計測を繰り返し、オートリピートタイマーとしても使えます。

オートリピートタイマーでセット時間が10秒以内のとき、タイムアップ音は1秒間だけ鳴ります。

タイマー時間のセットで点滅表示のまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

タイマー時間のセット

- ① ③ボタンを約2秒間押し続けます。
→ 時が点滅します。
- ② ①ボタンを押すと、点滅箇所が「時」→「分」→「秒」→...と移動します。
- ③ セットしたい箇所を点滅させたら、①ボタンを押します。
→ (Aボタン=1つ進む)
押し続けると早送りできます。
24時間をセットするときは"0:00:00"に合わせます。
- ④ 合わせ終わったら、③ボタンを押します。
点滅が止まります。



タイマーの使い方

① ボタンを押します。
押すごとにスタート/ストップします。1/10秒単位で残り時間を表示します。

計測停止時に③ボタンを押すと計測前の時間に戻ります。
ロスタイムがあるときは、計測中に①ボタンでストップ後、もう一度①ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



タイマー方法を選ぶ

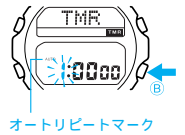
リピートタイマー(繰り返し計測)

タイムアップすると、減算計測が止まります。約10秒後にセット時間を表示します。

オートリピートタイマー(自動繰り返し計測)

タイムアップしても、ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測し続けます。

タイマー時間のセットのときに②ボタンを押します。押すごとに" AUTO "が点灯したり消えたりします。" AUTO "が表示されているときにオートリピートタイマーとなります。



鳴っている電子音を止める

いずれかのボタンを押します。

時刻・カレンダーの合わせ方

時刻モードにします。

「時」のセットのとき午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。

「年」は1995~2039年の範囲内でセットできます。

曜日は年月日を合わせれば自動セットされます。

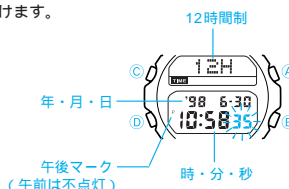
カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

時刻・カレンダーのセットで点滅表示のまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

秒の合わせ方

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

- ① ③ボタンを約2秒間押し続けます。
→ 「秒」が点滅します。



- ② 時報に合わせて①ボタンを押すと00秒になります。
→ 00~29秒のとき: 切り捨てられる
30~59秒のとき: 1分繰り上がる
時報は「時報サービス117番」が便利です。



- ③ 合わせ終わったら、③ボタンを押します。
→ 点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換などで時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

- ① ③ボタンを約2秒間押し続けます。
→ 「秒」が点滅します。



- ② ①ボタンを押すごとに、点滅箇所が「時」→「分」→「12/24時間制切替」→「年」→「月」→「日」→...と移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

- ③ ①ボタンまたは②ボタンを押します。
→ ①ボタン=1つ進む
②ボタン=1つ戻る
押し続けると早送りできます。



12/24時間制切り替えは、①ボタンを押すと12時間制と24時間制が切り替わります。

- ④ 合わせ終わったら、③ボタンを押します。
→ 点滅が止まります。

表示照明用 EL バックライトについて

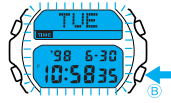
本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくしてみることができます。また、時計を傾けるだけで、自動的に発光するオートライト機能もあります。

ボタンを押して発光させる ~手動発光~

時刻モード・ストップウォッチモード・タイマーモードのとき

① ボタンを押します

- 文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。ELパネル発光中にもう一度ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。





時計を傾けて発光させる ~自動発光(オートライト)~

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が自動発光する便利な機能です。

準備 時刻モードのときに、

① ボタンを約1秒間押します

- オートライトオンマーク(AUTO ) が点灯し、オンになります。もう一度①ボタンを約1秒間押すと、オートライトオンマーク(AUTO ) が消えてオフになります。

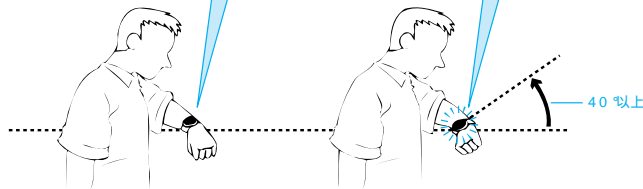


オートライトオンマーク

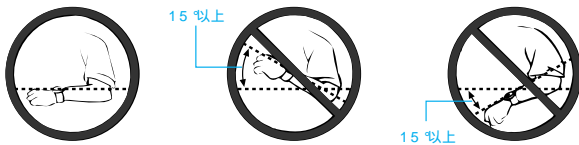
文字板を発光させる

① 時計を腕にはめ、水平にします

② 水平状態から、表示が見えるように約40°傾けます



オートライトを使用するときは、時計が「手首の外側」になるようにつけてください。このとき、文字板の左右(3時~9時方向)の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



オートライトご使用時の注意

オートライトが作動するのはオンにしてから2~3時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオフになります。

オートライトを頻繁に使用すると、電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

時計を傾けたとき、ELパネルの発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。

ELパネル発光後、時計を傾けたままにしておいても発光は約2秒間のみとなります。

時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上へあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときはオフにしておいてください。

時計を「手首の内側」につけるときは、できるだけオートライトをオフにしておいてください。

静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときは、もう一度水平状態から傾け直してみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下から振りあげてみると発光しやすくなります。

EL発光についての注意

直射日光下では、発光が見えにくくなります。

発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。

発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。